

2022年11月10日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

## LGBTQ への取組評価「PRIDE 指標」における最高評価「ゴールド」受賞について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 <sup>かめざわ ひろのり</sup> 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、2022年11月10日、任意団体 work with Pride（以下 wwP）による LGBTQ（性的マイノリティ）に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において、最高評価の「ゴールド」を受賞<sup>1</sup>しました。



「PRIDE 指標」は、2016年に策定された日本初のLGBTQ施策の評価指標で、各企業・団体等の、Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）について採点し、総合結果を「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の三段階で評価するものです。

MUFGでは、性的指向・性自認等にかかわらず、誰もが自分らしく活躍できる職場の実現を目指し、2016年度以降、差別禁止方針の明示や社員向け研修の継続実施、「同性パートナーシップ認定制度」の導入などに取り組んでまいりました。2022年度は、「PRIDE プロジェクト」と称した一連の啓発イベントを株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社三井住友フィナンシャルグループと協働して実施しています。第1弾は、自分らしさを表現したイラスト等を従業員とご家族から募り、すべての作品を使用したモザイクアートを描く「PRIDE Art」を実施しました。第2弾は、LGBTQについて学ぶオンラインセミナー「PRIDE Learning」を11月3日に開催し、共に学びを深めました。第3弾では、メッセージ動画「PRIDE Movie」の配信を予定しています。これらの取り組みが評価され、最高評価「ゴールド」の受賞に至りました。

MUFGは、パーパス「世界が進むチカラになる。」の実現に向けて、「インクルージョン&ダイバーシティ」をサステナビリティ経営における10の優先課題の1つとして定めています。今後も多様な社員が活躍できる職場環境づくりに向け、様々な取り組みを行ってまいります。

<sup>1</sup>「ゴールド」の受賞は、MUFG およびグループ6社（株式会社三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、三菱UFJニコス株式会社、MUSビジネスサービス株式会社、MUS情報システム株式会社）における取り組みに対し、評価を得ました。

以上